1. アンケートの概要

- (1)調査目的 第三次基本計画の評価及び次期総合計画の基礎資料として活用するもの
- (2)調査期間 令和6年12月27日(金)~令和7年1月17日(金)
- (3)対象者 18歳以上の市民 6,000人(2,000人×3種類)

- (4)抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5)調査方法 調査票を郵送にて配布し、回答は郵送又はオンラインにて回収
- (6)回答率 30% (1,783人)

2. 結果(概要)

(1) 施策分野(大分類41項目)に満足している市民の割合

大分類	R4(前回)	R6	比較	0%	20%	40%	60%
1. 保健・医療	26.0%	37.6%	7				● 令和4年度
2. 子育て	20.5%	26.3%	7				■ 令和6年度
3. 地域福祉	18.0%	22.6%	7				
4. 障がい者福祉	16. 7%	19.9%	7				
5. 高齢者福祉	20.9%	17.1%	7				
6. 社会保障・住まい	18. 1%	19.1%	\rightarrow				
7.スポーツ	22.3%	26.2%	7				
8. 子どもの教育	17.6%	29.8%	7				
9. 生涯学習	26.5%	15.1%	7				
10. 雇用・労働	11.4%	14.8%	7		-		
11. 多様性社会	12.5%	18.2%	7		_		
12. 平和	15. 7%	23.3%	7				
13. 文化・芸術	29.4%	29.5%	\rightarrow				
14. 文化的資産	18.5%	20.2%	\Rightarrow				
15. 観光	17.5%	21.0%	7				
16. 危機管理	21.8%	21.9%	\Rightarrow				
17. 防災	37. 3%	29.1%	\				
18. 消防	32.6%	42.1%	7				
19. 市民安全	33.4%	23. 7%	7			-	
20. 交通安全	23.3%	21.4%	\Rightarrow				
21. 道路・交通	25. 7%	21.0%					
22. 下水道	22. 9%	30.1%	7				
23. 住宅・住環境	15.5%	19.5%	7				
24. 公共施設	23.8%	25.3%	\Rightarrow				
25. 土地利用・景観	24. 2%	26.0%	\rightarrow				
26. 経済・商工業	17. 1%	18.5%	\rightarrow				
27. 都市農業	19.5%	17.7%	\rightarrow				
28. 水産業	8.4%	17.1%	7				

/ +5%以上 / +2%以」		+ 2%未清	嵩~-	2%未満	<u>\</u> −2%	6以上	-5%以上
大分類	R4(前回)	R6	比較	0%	20%	40%	60%
29. 自然環境・生物多様性	27.1%	28. 7%	\rightarrow				■ 令和4年度
30. 公園・緑地	38. 7%	33.4%	\				■ 令和6年度
31. 水辺	26.5%	27.8%	\rightarrow				
32. 地球環境	14.0%	17. 7%	7				
33. 生活環境	19.4%	28. 2%	7				
34. 資源循環型社会	30.2%	33.0%	7			_	
35. 協働・市民参加	12.9%	14.4%	\rightarrow		•		
36. 情報発信・提供	30.2%	31.1%	\rightarrow				
37. 地域コミュニティ・市民活動	18.3%	20.0%	\rightarrow				
38. 行政経営	17.5%	17.4%	\rightarrow				
39. 財政運営	12.0%	14.8%	7		•		
40. 広域行政・大都市制度	11.9%	16.9%	7		_		
41. 情報政策	18.6%	24. 1%	7				

(2)未来へのアプローチを実感している市民の割合

大分類	R4(前回)	R6	比較	0% 2	:0%	40%
八刀規	N4(HULLI)	NO	レレギス			
1. 安心して子育てができる	26.5%	29.0%	7			
2.いつまでも地域で健やかに暮らせる	33.8%	36.8%	7			
3. 災害・感染症に強く、安全・安心を実感できる	28. 4%	23. 7%	\			
4. 多様性を認め合い、個人が尊重され、 自分らしく暮らせる	21.6%	23. 2%	\rightarrow			
5. 多様な主体がつながり、協力し合う	12.8%	16.2%	7			● 令和4年度 ■ 令和6年度
6.経済の活性化により地域が発展する	14. 1%	15.8%	\rightarrow			
7. 地球環境を守り、豊かな市川の自然を 次世代につなげる	24. 1%	20.6%	7			
8. デジタル技術でだれでもが快適になる	14.8%	17.3%	7			
9. 子どもたちが希望をもって、自ら伸び、 育つ	18. 9%	19.8%	\rightarrow		L	
10.「文化のまち」の息づかいが感じられる	28. 7%	28.8%	\rightarrow			1

25

10

15

満足度(%)

20

30

○ポートフォリオ分析について

15

満足度(%)

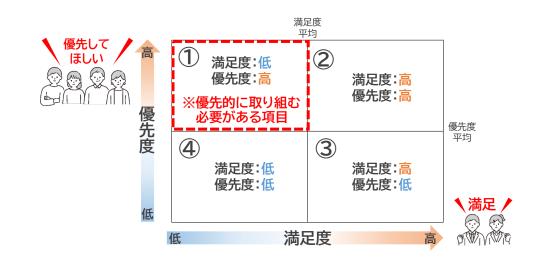
20

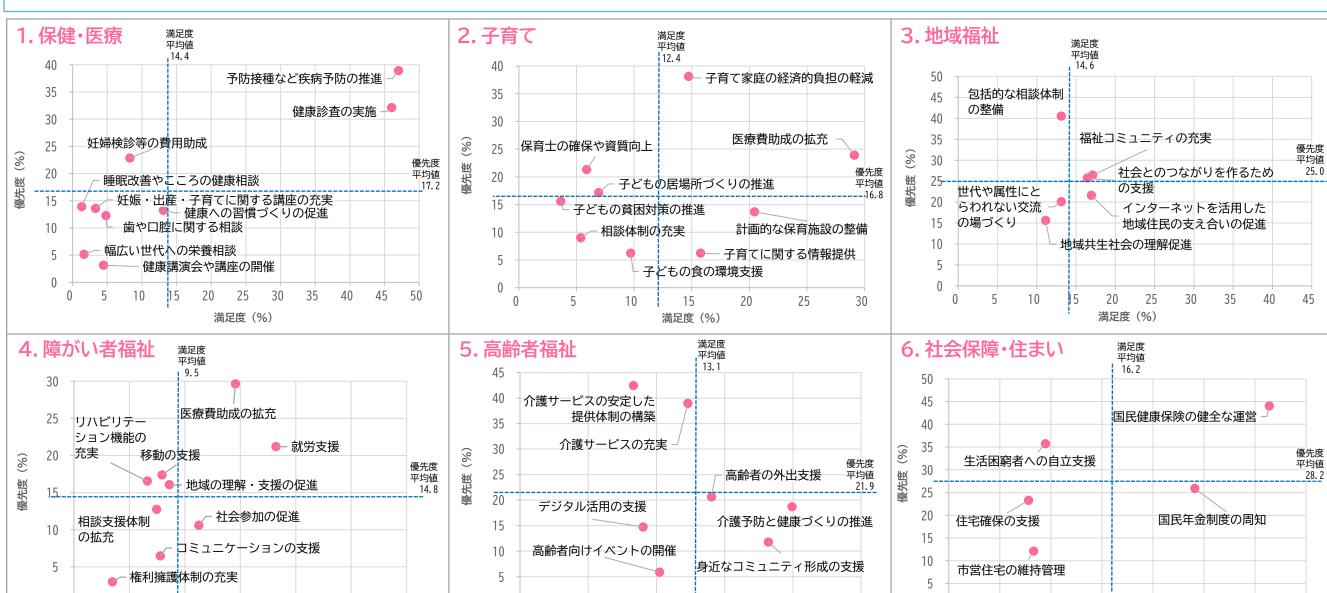
25

30

市民の「満足度」及び「優先度」をマッピングし、優先的に取り組む必要がある項目を把握する手法

区分	考え方
1	現時点で、満足度が低く、今後の優先度が高い ※優先的に取り組む必要がある
2	現時点で、満足度は <mark>高</mark> く、今後の優先度も <mark>高</mark> い
3	現時点で、満足度が <mark>高</mark> く、今後の優先度が低い
4	現時点で、満足度が低く、今後の優先度も低い





15

10

満足度(%)

20

25











